



## 竹刀に全力を注ぐ

### スポーツ少年団の豆剣士

「メーン」「ドー」元気あふれる掛け声とともに、竹刀の触れ合う激しい音が響きわたる有終会館。

毎週水・土曜日の夜には剣道スポーツ少年団の子供たち約30人がけいこに汗を流しています。

剣道は「礼に始まり礼に終わる」と言われているとおり、どの子も剣道着を付ければりしく礼儀正しい豆剣士。自分の全精神を1本の竹刀に注ぎます。

1時間のけいこを終えて面具をはずすと、頭や顔から湯気が立ち、屈託のない笑顔がこぼれます。これまで6年間、献身的に指導に当たっているのは福野平吉さん（5段、春日野）と内山昭克さん（4段、中挾町）。

福野さんは「週2回のけいこや早朝の寒げいこなど子供たちにとってはかなり厳しい行ですが、みんなよくがんばっています。剣道をとおして自分に勝つ強い心を養えたらと願

っています」と話しており、内山さんは「心とともに体を鍛えるのも目的の1つです。大人になってもスポーツを生活に生かされる市民になることを目指し、子供たちとともにけいこに励んでいます」と優しい眼差しで豆剣士たちをながめていました。

市内には柔道、サッカー、卓球、剣道の種目別スポーツ少年団と地区のスポーツ少年団があり、4月に新しい団員を募集します。

# 関心高く投票率93%

# 26人の新市議会議員決まる



清き一票を投じる有権者(市民会館で)

任期満了に伴う市議会議員選挙は2月18日午前7時から市内25カ所で一斉に投票が行われ、即日開票の結果18日午後11時28分に26人の新議員が決まりました。身近な選挙であり、しかも26議席を29人で争う少数激戦であっただけに有権者の関心が極めて高く、投票率は93%と前回は2.61%上回る良い成績でした。午後8時から市役所で行われた開票には約2,000人の市民が集まり、午後9時から20分ごとに発表される開票速報に見入っていました。

## 候補者別の得票数

当選	幅口 登	1,558.616票(新)	〃	宮本 弘	851	票(現)	
〃	兼井 藤波	1,391	〃(現)	〃	推井 清男	838	〃(〃)
〃	林 保信	1,297	〃(前)	〃	羽生 長	826	〃(前)
〃	松田 庄二	1,208.103	〃(新)	〃	栄 正夫	786.9	〃(現)
〃	砂子 三郎	1,157	〃(〃)	〃	石蔵 一郎	755	〃(〃)
〃	田原 哲也	1,113	〃(〃)	次点	杉川 栄	738.1	〃
〃	斉藤 秀雄	1,104	〃(現)		石田 善徳	680	〃
〃	山本 武	1,090	〃(〃)		内田 昭二	49	〃
〃	安田 武雄	1,077	〃(〃)				
〃	平間 源治	1,064	〃(〃)				
〃	西川 文人	1,018	〃(〃)				
〃	飯岡 彦兵衛	1,017	〃(新)				
〃	奥村 忠光	1,012	〃(現)				
〃	高津 靖生	1,005	〃(〃)				
〃	松田 太郎	1,002.896	〃(新)				
〃	杉本 夏男	981	〃(現)				
〃	尾崎 坤一	975	〃(新)				
〃	大葭原 登	968.383	〃(現)				
〃	角本 守	898	〃(〃)				
〃	高田新左衛門	877	〃(〃)				
〃	米村 喜六	855	〃(〃)				

## 選挙メモ

- ▶ 当日の有権者数 男14,350人  
女16,218人 計30,568人
- ▶ 投票者数  
男13,227人 (92.17%)  
女15,200人 (93.72%)  
計28,427人 (93.00%)
- ▶ 有効投票 28,193票
- ▶ 無効投票 228票
- ▶ その他 6票



開票速報板に見入る2,000人の市民

## 農業意向調査の結果

# 依然強い稲作への愛着

### 農機具の保有は70%

魅力ある新しい村づくりを進めるため、市は昨年から市内30集落で「地域農政特別対策事業」の推進活動を始め、話し合いによって問題を解決しようと集落座談会を積極的に進めています。その話し合いの資料にするため、昨年全農家 3,600戸を対象に農業意向調査をし、2,618戸(72.7%)の回答を得ました。その結果「農業に対する期待感が薄い」「稲作に依存する気持ちが依然として強い」「ほ場整備した後の地力低下に関心が高い」などの意向が強く出ています。主な内容を紹介します。



今後の農業のあり方を話し合う新河原の人たち

- ①耕運機73%
- ②トラクター50%
- ③田植機74%
- ④コンバイン71%
- ⑤バインダー20%
- ⑥乾燥機90%
- ⑦農用トラック58%
- ⑧農舎66.8%

#### 14、近年の農業用機械の投資額は

- ①50万円以下25.8%
- ②51～100万円23.2%
- ③101～250万円20.5%
- ④201～300万円15.6%
- ⑤301～400万円7.9%
- ⑥401万円以上7%

#### 1、あなたの経営耕地面積は

- ①50㎡以下11%
- ②51～100㎡33%
- ③101～151㎡29%
- ④151～200㎡17%
- ⑤201～250㎡7%
- ⑥251～300㎡2%
- ⑦301㎡以上1%

#### 2、現在の生活程度をどのように思っていますか。

- ①生活するには困らないが、もっと所得を増やしたい43%
- ②不満である25%
- ③満足ではないが、所得を増やそうとも思わない18.9%
- ④満足している13.1%

#### 3、農業の後継ぎがいますか。

- ①いる89.3%
- ②いない10.7%

#### 4、後継者が今後農業に従事すると思いますか。

- ①すると思う58.5%
- ②わからない37.1%
- ③しないと思う4.4%

#### 5、今後、農業経営をどうしたいと思いますか。

- ①現状のまま60.4%
- ③拡大したい23.2%
- ③わからない12.4%
- ④縮小したい2%
- ⑤やめたい2%

#### 6、拡大したい経営方法は

- ①稲作経営81%
- ②複合経営19%

#### 7、拡大する場合農地をどのように確保したいですか。

- ①買いたい61%
- ②借りたい26%
- ③作業受託をしたい6%
- その他

7%

#### 8、農業を縮小したい人の理由は

- ①兼業の方が生活が安定しているから35.3%
- ②将来に期待出来ない34.2%
- ③わからない24.3%
- 後継者がいない4.6%
- 農業が嫌い1.6%

#### 9、縮小したい人は現在の農地をどうしたいと思いますか。

- ①わからない55.5%
- ②権利がつかず期間を決めれば貸してもよい33.5%
- ③裏作だけなら貸してもよい8.3%
- ④価格によっては売りたい2.7%

#### 10、あなたの農地の地力は五、六年前に比べてどうですか。

- ①低下している44.2%
- ②変わらない36.9%
- ③わからない12.7%
- ④上昇している6.2%

#### 11、たいきゅう肥を使っていますか

- ①いない71.5%
- ②いる28.5%

#### 12、稲わらをどのようにしていますか。

- ①田にすき込む84.4%
- ②たいきゅう肥に8.8%
- ③焼却4.5%
- ④自家の家畜用1.1%
- ⑤販売0.6%
- ⑥その他0.6%

#### 13、あなたのお宅にはどのような農機具がありますか。

## 地力の低下を指摘

「生活が安定している」という農家は全体の75%で、農業後継者のいる家は約90%を占めています。

しかし、その後継者が将来も農業を続けていくかどうかの見通しになると40%の人がはっきりしておらず設問4.5の結果から「休日に農業をする」兼業状態は今後も続くことが予想されます。

また、経営面では依然として稲作への愛着が強く、農業に意欲のある経営拡大希望者の80%までが価格の安定した稲作に依存したいという考えをもっています。

地力問題では、その低下を指摘する人が半数近くあり、特にほ場整備された乾田地帯に多いことは見逃せません。しかし、地力を増進させるとたい肥の使用率は30%を割る低いです。農業機械や農舎の利用は進み、現在平均70%の普及率です。

今後も投資をしたいという意向が強く、共同利用への関心も高まりつつあることがうかがえます。

「きれいな教室、うれしいなあ」

## 乾側小学校が完成

54年度には体育館とグラウンド

危険校舎の改築として、昨年7月から建設が進められてきた乾側小学校舎がこのほど完成しました。

新校舎は総事業費1億3,080万円木造二階建て一部平屋かわらぶき延1,663平方メートルで、普通教室6室と家庭・理科・図工・図書・音楽・視聴覚などの特別教室8室が設けられています。

外装は薄グリーンに白のツートンカラー、教室はクリーム色で小学校にふさわしく温かみのある明るい校舎です。

2月16日には全校児童と先生で引っ越し作業をし、子供たちは「きょうからきれいな教室で勉強が出来る」と大喜びでした。

昭和54年度には体育館を建て替えし、さらに旧校舎も取り壊してグラウンドを拡張する計画で、体育館、グラウンドともに現在の2倍以上の広さのものが造られます。



▲喜びに胸膨らませて机や  
いすを運ぶ子供たち  
乾側小学校の正面玄関

### 小 さ な と 散 歩

#### ⑫ 笹又峠

越前大野城を築いた、織田信長の部将金森長近が、美濃から大野に進攻したときに、蠅帽子峠を越え、さらに、笹又峠を越えたのは1575(天正3)年でした。

武田耕雲斎の率いる千人近い水戸浪士の大軍団が、美濃の根尾谷から同じ道をたどって西谷村に入り池田に抜けたのは1864(元治1)



年、雪の降りしきる12月のことでした。西谷村は幕末のころは「南山中」とか「西の谷」と呼ばれていましたが、天正3年には越前の一揆軍との戦いで、元治元年には大野藩の苦肉の策で、水戸浪士を迎え討とうと上笹又、下笹又の集落をも含めて民家が焼かれたという悲惨な歴史が残っています。

これらの人災とともに、雪害、洪水そして干ばつといった天災が相つぎ、西谷村に壊滅的打撃を与えたのは昭和40年9月の奥越集中豪雨でした。村民の多くが避難し自衛隊員が救援物資を運んで通ったのもこの峠でした。

笹又峠は木本の上手から登りますが、峠の近くには五郎が池と次郎が池があります。

峠を下りると下笹又に出ますが通称「嫁落し」と呼ぶ断崖の下には深い淵があって、青々とした水をたたえ、とてもこわくて泳げなかったそうです。(T生)

## イトヨを守る工事進む 工場から取水

国の天然記念物「イトヨ生息地」を守るため、市は500万円をかけて本願清水への取水工事を進めています。春日2丁目の稲山織物株式会社から本願清水までの延長623メートルに口径100ミリの水導管を敷設し、工場の余水を毎分80リットル給水する計画で、3月末完成します。

さらに、来年は池底の整備と貯水そうを造り、工場からきた水を一度ためて、自然ゆう水に近い状態で池底から給水する計画です。

本願清水は昭和9年に「イトヨ生息地」として国の天然記念物に指定され、永く大野市の名所になってきましたが、約10年前から毎年秋冬に池が枯れるため、この間はイトヨを安全な場所へ移して保護に努めてきました。54年度の工事も、ことしの渇水期までには完成しますので、これからは水枯れないイトヨの安住の池になります。

## 53年観光客動向調査まとまる

# 自然を求めて68万人 六呂師、勝原に人気

昭和53年の観光客動向調査がこの程まとまりました。

これによりますと、昨年1年間に大野市を訪れた観光客は68万327人で1昨年より3万8,852人少なくなっています。

観光地で最も人気があったのは六呂師高原で24万4,345人、次いで勝原21万5,233人、市内観光・越前おのおのどり9万2,000人、九頭竜峡3万4,500人、森山2万2,270人越前大野城・郷土歴史館2万1,154人荒島1万1,770人の順になっています。

このうち1昨年に比べて増えたのは市内観光・越前おのおのどりの1万5,000人が目立ち、反対に減ったのは勝原5万6,087人、森山8,200人、九頭竜峡3,840人となっています。このように市内観光・越前おのおのどりが増えたのは越前おのおのどりが定着し、市外への宣伝が効果を上げてきたことと、近年のふるさと指向の風潮も手伝っていることは見逃がせません。

反対に勝原が大きく減ったのは勝原遊園地が冬期を除き休業しているため、その間に訪れた人の数がはつきりしていないためです。

次に観光客を地域別にみますと、県内客が56万8,592人、県外客が11万1,735人で、県外客は関西が4万4,580人、中京が3万4,807人、北陸が2万1,563人の順になっておりいずれも昨年よりわずかに少なくなっています。

利用目的別では一般行楽18万8,664人、スキー17万7,841人、行事行楽13万9,061人、ハイキング5万2,200人で、大野市へは自然を求めて訪れる人々が大半を占めていることがわかります。

このため、消費額は総計で3億4,381万円で、前年より2,381万円多くなっていますが1人当たりの消費額は、日帰り客が255円、宿泊客が3,272円と少額です。



## お知らせ

### ◆固定資産課税台帳の縦覧

固定資産課税台帳の縦覧期間は、4月2～21日です。

ことしはちょうど固定資産評価替えの基準年度になっており、また地方税法の改正が見込まれるため、平年の3月台帳縦覧が1カ月遅くなります。

### ◆国民年金保険料の改正

国民年金法の改正で、4月から保険料が次のとおり引き上げられます。

定額 2,730円 ⇨ 3,300円  
付加 3,130円 ⇨ 3,700円

保険料は毎年4回にわけて納めていただいておりますが、次の納期は6月です。

掛け忘れをしますと将来年金が受けられなくなることもありますので必ず納めて下さい。

納め方には掛け忘れをなくし、金額的にもお得な全納制度(4月に全納)がありますのでご利用下さい。

### ◆人事異動

2月1日付け、( )内は旧任

▶大野地区消防本部消防長事務取扱川崎泰彦 ▶同本部長兼大野地区消防署長大久保光雄(本部長兼署次席) ▶同署次席兼本部・署警防課長巻寄則夫(本部・署警防課長) 本部署総務課付伊藤一郎(本部消防長、署長)

## スマイル

### 暖冬異変

冬小軍と呼んで下さい。

——冬将軍

### ◆卓球教室

卓球教室が3月17日(土)午後1～4時、18日(日)午前9時～午後3時の両日有終会館で一流の講師を招いて開かれます。

受講は無料。小学4年生以上の方ならどなたでも参加出来ますので、希望の方は3月15日までに市教育委員会体育課(6-1111内線406)へ申し込んで下さい。

### ◆市民卓球大会

市民卓球大会が3月25日(日)午前8時30分から開成中学校体育館で開かれます。学童の部、経験者の部、未経験者の部があり、小学生以上の方ならどなたでも参加出来ます。

特に未経験者を歓迎しますので、希望者は3月20日までに市体育課へ申し込んで下さい。

### ◆生活用品交換

〈譲ります〉ガスオーブン、男子用自転車、ヤマハミニトレ、シングルベッド、ダブルベッド、子供用組立式ベッド、鳥かご、両袖木製机、テープレコーダー、糸糸編機、サイクリング自転車

〈譲って下さい〉婦人用自転車、婦人用ミニ自転車、男子用自転車、子供用自転車、原付自転車、ミニトレ電気洗濯機、電気ストーブ、げた箱本棚、応接セット、長いす、鏡台、ダブルベッド、畳、スキー、噴霧器とうみ、石油ストーブ、電気冷蔵庫母乳車、幼児用ベッド、ミシン

〈成立件数〉46件

交換の成立件数が増えるにしたがって提供品が少なくなっていますので、ご協力願います。

品物を譲りたい人、譲ってほしい人は、市生活環境課(6-1111内線224)へご連絡下さい。

# 市民カレンダー

3月10日～24日

10(土)	バドミントン教室 農業結婚相談	19.00～21.00 13.00～16.00	有終会館 〃	<p>大きくはばたくまちに 私たちは、働くことに喜びを 持ち、郷土の発展につとめます。 (市民憲章三章)</p> <p>◆交通災害共済の切り替え</p> <p>安い掛金であなたを守る交通災害共済は1年加入で、3月中が昭和54年度の災害共済の受付期間です。 まだ加入されていない方はこの機会に、加入している人も切り替えが必要ですから、各区長さんへ申し込んで下さい。 この共済は1人年額 450円の掛金で、全治1週間の傷害に1万円から、死亡に100万円までの8段階の見舞金が支給されます。</p>	
11(日)	二月堂 お水取り				
12(月)	人権相談 行政相談 法律相談	10.00～15.00 10.00～15.00 13.30～16.00	上庄公民館 〃 商工会議所		
13(火)	知事、県議選選挙人名簿登録基準日				
14(水)	バドミントン教室	19.00～21.00	有終会館		
15(木)	選挙人名簿縦覧	18日まで	市役所選管事務局で 知事選告示		
16(金)	心配ごと相談	9.00～12.00	市役所		
17(土)	農業結婚相談 バドミントン教室 卓球教室 青年のつどい	13.00～16.00 19.00～21.00 13.00～16.00 17.00～22.00	有終会館 〃 〃 奥越青少年の森		
18(日)	彼岸入り 家庭の日	青年のつどい 卓球教室	7.00～16.00 9.00～15.00		奥越青少年の森 有終会館
19(月)	税務相談 経理相談	10.00～16.00 9.00～16.00	商工会議所 〃		人権相談 13.00～16.00 大野公民館 県議立候補届出書類事前審査 市役所
20(火)	1歳半児検診 バドミントン教室 労働相談	13.30～14.30 19.00～21.00 13.00～16.00	有終会館 〃 商工会議所	行政相談 10.00～15.00 富田公民館 献血 10.00～15.00 神栄工場前	
21(水)	春分の日	知事選立会演説会	19.00～	有終南小学校 結婚相談 10.00～15.30 有終会館	
22(木)	心配ごと相談	9.00～12.00	市役所	<p>◆2月お知らせ版の訂正</p> <p>2月お知らせ版の「耳の更生相談」の時間が「午前7時から」になっていますが「午前10時から」の誤りですから、訂正しておわびします。</p>	
23(金)	世界気象デー	社会保険年金相談 農業結婚相談	13.00～15.00 13.00～16.00		大野織物工業組合 有終会館
24(土)	バドミントン教室 青年ゼミナール	19.00～21.00 18.00～22.00	〃 奥越青少年の森		

カラスの鳴かない日はあっても、新聞に火災の記事が載ってない日はないほど火事が多い。そしてお年寄りや、子供たちの尊い命が失われている。痛ましいことだ▼当市の五十三年中の火災件数二十二、被害総額六千九百六十一万円となっており、残念なこと三人の命が失われている▼しかもこの数字は前年に比べて、いずれも大きく上回っており、ありがたくない伸びを示している▼火災原因中に落雷によるものが一件。これはカミナリに大きい責任があると思うが、その他については、もう少し火気に対し気を配っていたらナアと思われる。火を使う時、また火を使った後、その一人ひとりが責任を持つこと▼春三月。南の方からチラホラと花の便りも届くころ、大野の山々では山仕事が始まり、やがて山菜取りでにぎわう。誠に健康的だが、こわいのがたばこの火の不始末▼寺子姓吉三郎恋しさに放火した八百屋お七。あわれにも火あぶりの刑に処せられたのが、一六八一年の江戸の春であったという。たばこの不始末による山火事も、不注意による放火と言えよう▼昔は腰にさすたばこ入れや、芝居小屋などで出すたばこ盆に「火の用心」と書かれていたそうだ。火に対する細かい心遣いを教えられる▼三月二十八日から春の火災予防運動が始まる。私たちの手で美しい大野を守りたい。「火の用心しやしゅりましゅ」(D生)「チヤンチヤンチヤン」



発行 福井県大野市 編集 秘書広報課  
印刷 柳松浦印刷  
(電話) 011111